No.026		名前	点数
偉人のことば編			／20

①	1963年のワシントン大行進で「私には夢がある」と力強く訴えた、 人種差別の撤廃を求めるアメリカの公民権運動を率いた牧師は誰？	
②	『論語』の中で「己(おのれ)の欲せざる所、人に施すことなかれ」と説いた、 春秋時代の中国で弟子たちに教えを伝え、儒教の祖とされる思想家は誰？	
③	人間を「考える葦(あし)」と呼び、その弱さと尊さを深く論じた思索が、 没後に『パンセ』としてまとめられた、17世紀フランスの数学者は誰？	
④	エベレストに登る理由を聞かれ「そこにあるから」と答えたことで知られる、 1924年、アンドリュー・アーヴィンと登頂を目指して消息を絶った登山家は誰？	
⑤	「神は死んだ」と記した著書などで、近代の価値観を鋭く問い直した、 『ツァラトゥストラはかく語りき』で超人を説いたドイツの哲学者は誰？	
⑥	『学問のすゝめ』を「天は人の上に人を造らず」という一節から始めた、 慶應義塾のもととなる塾を開いた、明治時代の思想家・教育者は誰？	
⑦	ゲティスバーグ演説で「人民の、人民による、人民のための政治」を掲げた、 南北戦争中の1863年にこの演説を行った、アメリカの第16代大統領は誰？	
⑧	2005年の卒業式で「ハングリーであれ、愚かであれ」と引用した、 アップルを共同創業し、iPhoneの発表でも知られる実業家は誰？	
⑨	「1人の人間には小さな1歩、人類には大きな飛躍」と月面で述べた、 1969年、アポロ11号の船長として人類初の月面歩行を行った宇宙飛行士は誰？	
⑩	知識と力の結び付きを説き、人の判断を妨げる「4つのイドラ」を論じた、 帰納法(きのうほう)を重んじ、『ノヴム・オルガヌム』を著した哲学者は誰？	
⑪	「雪は天から送られた手紙である」という言葉で、結晶と気象の関係を表し、 1936年に世界初の人工雪の結晶を作った日本の物理学者は誰？	
⑫	1623年の著書で、宇宙という書物は数学の言語で書かれると述べ、 望遠鏡による天体観測を進め、地動説を支持したイタリアの科学者は誰？	
⑬	宇宙飛行で用いた無線の「チャイカ」はロシア語で「カモメ」を意味する、 1963年、ボストーク6号で宇宙を飛んだ世界初の女性宇宙飛行士は誰？	
⑭	若い商人への助言に「時は金なり」と記し、時間の価値を説いた、 避雷針(ひらいしん)を考案し、アメリカ独立宣言の起草にも加わった人物は誰？	
⑮	少年期に「わだばゴッホになる」と叫んだという有名な逸話が伝わり、 自らの木版画を「板画(はんが)」と呼んだ、青森県出身の芸術家は誰？	
⑯	首相就任直後の演説で「血と労苦と涙と汗」しか提供できないと語った、 1940年に戦時内閣を率い、第2次世界大戦を戦ったイギリスの政治家は誰？	
⑰	「底のほうにはまだ十二分の余地がある」と題する講演を1959年に行い、 原子や分子ほど小さな領域での技術の可能性を論じたアメリカの物理学者は誰？	
⑱	「数学は科学の女王、数論(すうろん)は数学の女王」とする言葉が伝わる、 正17角形の作図可能性を示した、ドイツ生まれの数学者は誰？	
⑲	「1個のリンゴでパリを驚かせたい」と語ったという言葉が伝えられる、 果物の静物画やサント・ヴィクトワール山の絵で知られるフランスの画家は誰？	
⑳	「教育は世界を変える最も強力な武器」と訴えた言葉で広く知られる、 アパルトヘイト撤廃を訴え、南アフリカ初の黒人大統領となった人物は誰？	